

平成30年度  
「お茶で北海道を美しく。」キャンペーン  
助成活動報告



平成31年4月11日  
NPO法人北海道遺産協議会

# 平成30年度「お茶で北海道を美しく。」キャンペーン 助成先一覧(計3件)

No.	遺産の名称	地域	団体名称	活動の名称	助成額
1	螺湾ブキ	足寄町	NPO法人あしよろ観光協会	螺湾ブキ自生地鑑賞圃場復旧活動	350,000
2	野付半島と打瀬船	別海町	野付半島ネイチャークラブ	児童向け野付解説カードの作成と配布	350,000
3	天塩川	流域市町村	特定非営利活動法人 ダウン・ザ・テッシ	北海道遺産 天塩川100マイル国際カヌーツーリング大会 「ダウン・ザ・テッシ-オーベツ スペシャル2018」	300,000

# 1. 螺湾ブキ自生地鑑賞圃場復旧活動

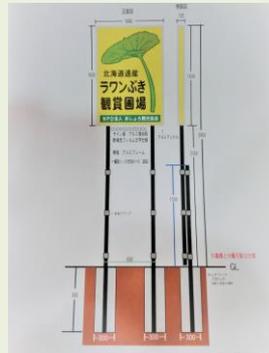
■ 実施主体： NPO法人あしよろ観光協会（足寄町）

■ 実施団体URL： <http://dounan-rekibun.jp/>  
（NPO法人あしよろ観光協会HP）

■ 助成額： 350,000円

## ー活動内容ー

- 平成28年の台風により、甚大な被害を受けた螺湾ブキ鑑賞圃場の復旧作業を行いました
- 圃場を耕し、雑草の駆除作業を実施。苗を育てて植え直しました
- 倒れてしまった鑑賞圃場の看板を再整備しました



遺産の名称：  
「螺湾ブキ」（足寄町）



足寄町の螺湾川に沿って自生する螺湾ブキは高さ2～3mに達する巨大なブキ。かつては高さ4mに及び、その下を馬に乗って通ることができたというが、なぜ大きくなるのかはいまだに謎が多い。また、自生ブキの他にも、農業者が農産物として栽培ブキの生産を行っている。その味は繊細で、ミネラルが豊富で繊維質にも富む。

## 2. 児童向け野付解説カードの作成と配布

- 実施主体：野付半島ネイチャークラブ（別海町）
- 実施団体URL：<http://notsuke.jp/natureclub>  
（野付半島ネイチャークラブHP）
- 助成額：350,000円

### —活動内容—

- 野付半島を象徴する、生物、産業、歴史、地質・地形に関する児童向け解説カード31種を作成。野外で簡易な図鑑として使用できるよう、ポストカードサイズで1枚1種。片面印刷で児童自らも書き込めるようにした。
- 作成にあたり、別海町郷土資料館、釧路博物館、北海道博物館、帯広畜産大学、国立研究開発法人産業技術研究所などの研究者にも監修いただくことができ、児童向けながらも、専門的内容、一般的な図鑑では記載されない地元ならではの情報も盛り込むことができた。
- 500部印刷し、野付小学校、野付中学校、標津高校生物部をはじめ、近隣の小中高校へ配布。



遺産の名称：  
「野付半島と打瀬船」  
（別海町、標津町）



全長26kmの日本最大の砂嘴（さし）で、擦文時代の竪穴式住居も見られる。江戸時代には国後へ渡る要所として通行屋が設けられ、北方警備の武士も駐在しました。トドワラ、ナラワラの特異な景観や、春と秋に野付湾に浮かぶ打瀬舟の風景が多くの人々をひきつけている。北海シマエビ漁に用いられる打瀬舟は野付湾の風物詩として知られ、霧にかすむ舟影は幻想的。

### 3.北海道遺産 天塩川100マイル国際カヌーツーリング大会 「ダウン・ザ・テッシ-オー・ペツ スペシャル2018」

- 実施主体：特定非営利活動法人 ダウン・ザ・テッシ（事務局・美深町役場内）
- 実施団体URL：<https://mint.hokkai.net/~hccc/dt01>  
（ダウン・ザ・テッシ-オー・ペツHP）
- 助成額：300,000円

#### ー活動内容ー

- 北海道命名150年記念、国際カヌーツーリング大会の初開催を通じて、北海道遺産「天塩川」の大自然と触れ合い、河川景観や環境保全に対する関心を高めた
  - カヌーツーリング大会前、大会期間中に清掃、点検活動を実施し、ツーリング中にゴミ拾い等のクリーンリバー活動を展開したほか、天塩川流域にある生誕200年を迎えた松浦武四郎の縁の地を訪ねた
- 事前清掃活動 6月9日、7月1日   ○点検活動 6月17日、7月1日
- 大会期間中 7月14日～17日



遺産の名称：  
「天塩川」（流域市町村）



天塩川は延長256km、北海道第2位の長大河川。松浦武四郎は天塩川内陸調査の途上で「北海道」の命名をしたとされる。川の名前の由来となったテッシ（アイヌ語で「梁」(やな)の意味)が数多く点在し、河口までの160kmを一気に下ることができる日本有数のカヌー適地としても知られ、愛好者たちは20ヶ所のカヌーポートから大河を下っていく。